

6月に入っても比較的過ごしやすい日々が続きますね、昨年に比べて涼しいと思います。皆様如何お過ごしでしょうか。

5月は沢山のイベントがあり、本使はとても楽しい時を過ごしました。

5月18日から3日間、本使はサン・ルイに行き国際ジャズ・フェスティバルを見てきました。一昨年にも行きましたので2回目です。普段は比較的落ち着いた雰囲気のあるサン・ルイ島ですが、このフェスティバル期間は島中が音楽と観光客であふれてとても活気があり、全く違う顔を見せます。今年が目玉はジャズ演奏にセネガルの太鼓が加わって独自のジャズを奏でたグループでしたが、なかなか面白かったです。今年はこのフェスティバルに日本人では山本研さんご夫妻さんも参加して演奏したそうです。本使はジャズのことは全く分かりませんが、国際フェスティバルとして欧米から多くのミュージシャンが参加しているので、将来日本でも知名度があがって、日本のミュージシャン達がどんどん参加するようになればよいと思います。この期間ホテルは満杯で予約を取るのが難しいのですが、来年以降、皆様も機会があったら是非行ってみてください。

25日には民間団体 Planet A が主催するアニメフェスティバル「祭り」がコルニツシュ通りの Place du Souvenir において開催され、当館も共催して参加しました。一昨年、昨年に続き、本使はこのアニメフェスには3度目の参加になりましたが、今年はセネガルの若者を中心に2000人以上の来場者があり、大変盛り上がりました。セネガルにおける日本のアニメやマンガの人気の高さを改めて実感しました。今回のフェスには、日本から尺八奏者の入江氏が参加されたり、女の子達が日本舞踊を披露したり、JOCV の有志による盆踊り？をイメージした踊りがあったり、単なる日本のポップカルチャーの紹介だけではなく、日本の文化を広く紹介するイベントになりました。強い日差しのせいで本使は日焼けで顔面火傷のようになりましたが、還暦を過ぎた本使のような老年ではなく、若い人たちが日本文化を積極的に紹介してくれたことがとても良かったと思います。特に JOCV の方々に参加して頂いたことは良かったですので、是非来年も大勢参加してイベントを更に盛り上げてください。この機会にスポンサーで協力を頂いた CFAO 社に改めて深く感謝申し上げます。

6月1日にはゴレ島において、日本未来支援機構の代表の浅野さんの主催するゴレ島平和音楽祭が開催されました。浅野さんは2年前に初めてゴレ島を訪れ、奴隷貿易の拠点であったいわば人類の「負の遺産」ともいえる島の歴史に心を動かされたそうです。普段から世界で慈善活動をしている彼女ですが、その時彼女は、是非、この島から子供達の平和のメッセージを音楽にのせて世界に届けたという思いを持ち、子供達による音楽祭を企画しました。そしてこの音楽祭のために日本で製造され、発達障害の日本人の若者の描いたアフリカの鳥の絵がデザインされたグランドピアノを寄贈しました。音楽祭ではこの音楽祭のためにセネガルに来たピアニストのメイさんや尺八奏者のユウタさんの演奏や日本人やセネガル人の子供達

によるキラキラ星の演奏や歌やダンスのパフォーマンスがあり、会場を埋めた多くのゴレ島民や観光客が楽しんでいました。この音楽祭は日本人とセネガル人のボランティアの方々が支えてくれましたので彼らに感謝するとともに、音楽祭の実現に協力頂いたゴレ市当局、特にサンゴール市長に対し深く感謝します。

寄贈されたピアノは日本人の善意の賜物として、ゴレ島の宝として未来にまで音を奏で続けるでしょう。

今週末は、8日(土曜日)には、毎年恒例?の日本語補習校の生徒さん達に対する本使公邸のプール開き、そして9日(日曜日)にはインターナショナルスクールで日本人会による運動会が開かれます。

そしてセネガルは夏、雨期を迎えることとなります。